

## ○生活環境部会の活動報告○

生活環境部会 高橋金光

### 部会での活動

平成 21 年度の生活環境部会は「エコスクール実行委員会」の 1 回を含め、5 回の会議を開催し部会の取り組み方針、事業の進め方、問題点などについて協議しました。

そして平成 20 年度からスタートした「エコスクール事業」を、今年度も発展的に行っていくことを決め、その取り組み方について検討してきました。

また、エコスクールの運営を生活環境部会としてではなく、部会内に実行委員会を設けて活動することにしました。

実行委員の人選はなかなか難しいものがあり、始めのうちは生活環境部会のメンバーが兼任することとして、協力していただける市民を探して声をかけてゆくという活動を始めました。

内容は COP 10 開催を控えて、その関連での事業を含め、10 講座開催できましたが、一般公募の講座は 4 講座に留まり、エコスクールとしての内容を備えた講座を誘致することの難しさを感じたところです。

### 実施事業

#### エコスクールの開催

環境問題に取り組むことの出来る人づくりを目的として「学びあいと育ちあいの場」を展開しています。

	講座数	参加者数
一般講座	10	456人
公募講座	4	152人

参加の多かった講座は、星空の音楽会（七夕エコナイト）130人、ビオトープを学び、ミニコンサートを楽しもう100人、横須賀新川の生き物観察95人、船島小学校ビオトープの水質調査52人、第1回親子産業コース50人、第2回親子産業コース46人でした。



星空の音楽会



ビオトープを学び  
ミニコンサートを楽しもう



生き物探検隊  
横須賀新川の生き物観察



第2回親子産業コース

### 活動を省みて

平成20年から始まったエコスクールは2年を経過しましたが、参加者・協力者共に馴染みが薄い印象が見られました。今後はイベント実施時に限らず、ちらし・ポスターなどで広報活動に力を注ぐ必要があると感じました。

また、私自身ビオトープを学び、ミニコンサートを楽しもうという公募講座を開催しました。初めての試みで何人参加してもらえるか心配でしたが、学校の協力もあり、成功したと思っています。開催するためには、多方面の呼びかけが重要だと思いました。

### 今後の課題

エコスクールは23年度以降COP10関連の講座がなくなるので、これに代わるものとして新しい企画が求められます。シリーズ化できるイベントや、鉄の町・ランの町を取り上げた講座があればいいのではないかと思います。

エコスクールは馴染みの薄い人がまだ多いと思うので、公募講座の開催の他にも、学校、保育園、幼稚園、事業所、商店、コミュニティ、町内会、自治会など、いろいろなところにエコスクールとはどういうものなのか理解してもらおう働きかけをしてみたいのではないのでしょうか。エコスクールのセールスマンをやってみることを考えても良いと思いますし、実行委員と生活環境部会の勉強会も必要だと思います。

また、エコスクールと平行して、環境美化への対応や緑化事業の推進も今後の課題として考えています。